

## 「まいにち笑顔 みんなが笑顔」



## 努力の先の金メダル

長い夏休みが終わり、今日から2学期がスタートしました。今年の夏休みは、猛暑の他、台風やゲリラ豪雨といった異常気象であったり、コロナや肺炎なども流行ったりしていたので、楽しい予定が変更になったこともあったかもしれません。

さて、夏休みに入ってすぐにフランスのパリでオリンピックが開催されました。見た人もいるのではないかと思います。日本はたくさんのメダルを取ることができました。中には、皆さんより少し年上の中学生や高校生がメダルを取ったりもしていました。逆に、期待していたバスケやバレー、サッカーなどは残念な結果になったけど、スポーツの楽しさを教えてくれたと思います。

その中で印象に残った競技を話します。それは、柔道です。初めに女子柔道の角田夏実選手です。角田選手は、巴投げと言って、自分が倒れた勢いをもって対手を足で投げ飛ばす技を得意としているのですが、周りからは、角田選手にはこの技しかないと批判されることもありました。しかし、角田選手はこの技を10年以上磨き上げてきました。そうすることで、相手の選手は、「巴投げがくる」と分かっているにもかかわらず、その技にかかってしまうぐらい、無敵の技にまで高めることができました。その結果、オリンピック初出場で金メダルを取ることができました。

もう一人は、男子柔道の阿部一二三選手です。阿部選手は、前回の東京オリンピックで金メダルを取りました。前回、優勝をしているので、世界中の選手が阿部選手を倒そうと、阿部選手のことを研究して、特訓に励んできていました。ですから、阿部選手にとっても今回の大会は、前回以上に厳しい試合でした。でも、阿部選手は前回優勝してから、袖釣り込み腰という腕と腰を使って投げる得意技を、より決めやすくするために、足技を鍛えたのです。そうすることで、相手が足に気を取られた隙に、投げ技を決めることができ、その結果、オリンピック2連覇を達成することができました。

得意技をとことん鍛え上げた角田選手。得意技を決めるために他の技を鍛えた阿部選手。ともに東京オリンピックからの3年間、必死に努力をしてきたことは間違いありません。その結果が金メダルとしてつながったのです。

2学期は84日間あります。皆さんは、自分の得意分野を頑張るのもいいですし、苦手を少しでもなくすよう頑張るのもいいです。2学期は体育の日や芸術祭など、大きな行事もありますが、大事なことは努力を続けることです。是非、2学期の目標をしっかりと立て、12月には自分自身に金メダルをあげられるよう頑張っていきましょう。